

第2回毛呂山町小・中学校のあり方検討委員会 会議録			
日 時	令和4年9月30日(金) 13:30~15:20	場 所	毛呂山町役場201会議室
出席者	委員14名(欠席10名 途中参加1名) 傍聴者8名		
毛呂山町	高沢教育長 石田教育総務課長 土屋学校教育課長 内野教育総務課副課長 三浦学校教育課副課長 岩田教育総務課管理係長 菅原教育総務課管理係主事		
発言者	内 容		
事務局	<p>みなさまこんにちは。それではお時間になりました、お待たせいたしました。本日10名の委員から欠席のご連絡を事前にいただいております。まだお一人お見えにはなっておりませんが、毛呂山町小・中学校のあり方検討委員会設置要綱第6条第2項に基づき、過半数に達していますので会議が成立することをご報告いたします。</p> <p>ただいまから、第2回毛呂山町小・中学校のあり方検討委員会を開催いたします。</p> <p>始めに、資料の確認をさせていただきます。まず前回の委員会でA委員さんがお持ちになった資料、A3両面刷り1枚を本日卓上配布してあります。次に先日郵送しました資料の確認をさせていただきます。</p> <p>こんにちは、よろしく申し上げます。</p> <p>今回お送りしたのは2部お送りしています。まず1部がですね、A4が1枚で今日の会議の次第。あともう1つがですね、2箇所留めの冊子。インデックスがですね1から6まで付いている、ちょっと2箇所留めの厚い資料なんですけど、以上2点でございます。お手元ご確認はよろしいでしょうか。ありがとうございます。</p> <p>ではですね、資料の確認のところでお伝えしたいことが1点あります。前回資料、第1回の資料説明の時にですね、説明したことから3点変更がありますのでご報告いたします。こちらのほうは資料はございません。前回の委員会で町内の小中学校施設の見学、2点目として他市町からの情報提供、あと3点目としましてグループごとの討議と発表ですけれども、こちらのほうは正副委員長と協議しました結果、実施しないというこ</p>		

教育長	<p>とになりましたので、ここでご報告いたしますのでご了承願います。事務局からは以上でございます。</p> <p>それでは資料の1枚目、本日の会議次第をご覧ください。この次第により会議を進めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>次第の2でございます。挨拶を毛呂山町教育委員会教育長より申し上げます。</p> <p>はい。では改めまして、委員の皆様こんにちは。本日はそれぞれ御用があったかと思いますが、ご多用の中、第2回の毛呂山町小・中学校のあり方検討委員会にご出席いただきましてありがとうございます。委員の皆様には日頃よりそれぞれのお立場で、町内の小中学校の教育活動をはじめ、社会教育、生涯学習、スポーツ振興等ですね。毛呂山町教育委員会の様々な教育推進事業にですね、ご理解とご協力いただきまして本当にありがとうございます。心より感謝申し上げます。</p> <p>前回第1回の検討委員会ではこのあり方検討委員会の位置づけや、そして当教育委員会が目指してきました、また今後展開していく教育の内容について資料等を用いて、説明をさせていただきました。毛呂山町教育委員会のほうでは未来を拓く人づくり（小中一貫教育）プロジェクト基本方針のもとに、学校、家庭、地域それぞれが、連携して毛呂山町の将来を担う子供たちの育成に努めております。またコミュニティ・スクール等で、中学校区ごとに地域の方々からさまざまな教育力をいただきまして、それぞれの創意工夫ある行事等を展開しております。また小中一貫教育ということでございますので、小中の9カ年を連続性のある教育課程で編成して、学習指導、児童生徒指導の充実を図っております。それぞれの学区で、さまざまな取り組み等を行っておりますが、先日、光山小学校で地域の方にご協力いただきまして6月に植えた苗が大きくなって、稲刈りを行いました。また他の小学校も、泉野、川角でも、今後稲刈りが予定されております。そのような、地域の方のお力をお借りしての授業、子供たちの大変貴重な行事になっております。また小中連携ということで2学期の始め、始業式では小中一斉の、合同の下校指導。中学生が小学校へ寄って、そこで児童と一緒に下校していく。災害に備えたりとか、あるいは非常時の対応ということでそれぞれ目的にあった行事を行っております。陸上部が小学校に出向いて、練習ですとかさまざまな取り組みを子供たちに、これからの力を植え付ける。それを私たちは確信しております。</p>
-----	---

	<p>第1回の委員会ではさまざまなご意見を委員の皆様からいただき、今回それを踏まえて、資料提供させていただいております。毛呂山の将来を担う児童生徒に望ましい教育環境を提供するためのご意見をいただく旨、またそれぞれの委員さんの立場から、ご意見をいただきますように重ねてお願い申し上げます。</p> <p>懸念されるのは、これからの新型コロナウイルス等の対策でございます。町のほうでも追加接種ということで、この後町内の施設をお借りして、追加接種を行っていく予定です。ぜひ委員の皆様にも、日ごろからの健康管理、十分お気をつけいただいて感染拡大防止に努めていただきたいと思います。</p> <p>では限られた時間ではございますが、本日も活発なご協議をいただけますようによろしく願いして、挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。続きまして、委員長ご挨拶お願いいたします。</p>
委員長	<p>こんにちは。お忙しい中ご参加いただきありがとうございます。ただ今日はちょっと人数が少ないので心細いなというふうには思っているんですけども、皆さんのご意見をいただきながら会議を進めていきたいと思っています。今回から皆様の意見を聞きながら小中一貫校のよりよいあり方について、施設形態等について検討していくこととなります。全部で4回しかないので、今日は2回目なのであと3回ということですので、どうぞご忌憚のない意見をお願いいたします。よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>それではこれより次第の3の議題に入ります。議事の進行につきましては設置要綱第5条第3項により、委員長が議長とさせていただきます。なお以後の事務局の説明につきましては着座にての説明をお許しいただきます。それでは議長よろしく願いいたします。</p>
委員長	<p>はい。それでは1、毛呂山町における小中学校のあり方についての議題とします。最初に事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>はい、委員長。まず資料の説明に入る前にですね、ちょっと何点かお知らせしたいことがございます。まず1点目、この資料についてなんですけ</p>

れど、前回の委員会で委員の皆様から多数の資料要求をいただきました。この件につきまして正副委員長と協議をいたしまして、今回の委員会の趣旨に沿った資料であること、またお出しすることができる資料を今回配布しておりますのでご了承願いたいと思います。

次に2点目ですけれど、委員の皆様が発言についてでございます。今回の委員会の構成はさまざまな団体等もありますし公募の方もいらっしゃいます。そうしますと、今回の委員会は小中学校のあり方についてご意見をいただくものなんですけれど、それぞれの立場があるということももちろん認識しております。ですのでそれぞれの立場から客観的なご意見、こちらのほうをいただければと思いますのでよろしく願います。

なおですね前回もご説明いたしましたけれど、この委員会は委員会での意見をまとめたり、1つの結論をお出ししていただくことはありません。あくまで委員の皆様からいろんな意見をいただきたい、こういうことを目的としている委員会ですのでよろしく願いたいと思います。

本日はですね、まず資料ではなくパワーポイントで小中一貫教育、ソフト面についてまずご説明した後、本委員会の趣旨であります児童生徒のよりよい教育環境、小中一貫校とその時期についてご説明して、その後皆さんからご意見をいただきたいと考えてますのでよろしく願います。それでは、パワーポイントの用意ありますのでちょっとお待ちください。

～事務局機材準備、正副委員長移動～

改めましてこんにちは。まず始めにですね、私のほうから小中一貫教育の内容につきまして簡単にですねご説明をさせていただけたらと思います。内容につきましては、実は平成30年度の子育て講演会の時にですね、私のほうからいわゆる小中一貫教育、未来を拓く人づくり（小中一貫教育）プロジェクト基本方針の説明をさせていただきました。その部分を中心にですね、もう一度かいつまんで話をさせていただけたらと思います。着座にて失礼いたします。話す内容といたしましては子供たちの置かれている現状、学校を取り巻く環境、毛呂山町の取り組みについてですね、お話をさせていただきます。

～資料に基づき説明～

それでは正副委員長、元の席にお戻りください。ただいまご説明したのは毛呂山町でいま行っている小中一貫教育、ソフト面についての説明でござ

委員長	すみません、答えていただけますか。
事務局	申し訳ございません、こちら平成28年度に採ったものでございまして、当時の担当もいないですしちょっとそのへんの解釈ですとかはちょっとお答えすることが難しいかと思いますが。
委員長	(事務局挙手) はいどうぞ、お願いします。
事務局	はい。説明に付け加えをさせていただきたいと思うのですけれども、すぐに学校統廃合云々というところだけではなくて、余裕教室を統廃合だけのために使うのではなくて、他のあの公民館であったり、図書館であったり、またはそれ以外の児童館だったりいろいろな施設というものが町のほうにはございます。そういったものを学校のほうに入れて、なおかつそういったものを入れながらも統廃合のほうも検討していったほうが良いという回答だというふうに理解しております。
B委員	わかりました。
委員長	よろしいですか。そのまま建物は結局そのまま残してってというふうなことになるのかなと思うんですけども。はい、他にございますか。はい、じゃあないようでしたら途中また質問があったらそれをお受けしたいと思います。小中一貫教育の施設形態ということで何かご意見がありましたらよろしく願いいたします。
A委員	(委員挙手) はいどうぞ、A委員。 どうもご説明ありがとうございます。このアンケートは6年ほど前ですね。私、1学級は嫌なんだなということは受けとったんでございますが、ただ、その後のコロナの状況とかいろいろな少人数学級が認められてるとかいうふうな状況があるので、できればこのアンケートをもう一度回していただけないでしょうか。というのは6年前ですと小学校の1年生だった子が小学校6年になり、多分ここで意見を出していただいた保護者がほとんど卒業されている。で、このまま施設一体型一貫校をやったときに保

	<p>護者の意見が反映されていないんですか、6年前の保護者の意見なんですかと、恐らく30パーセントを切ってしまうのではないのかなと思うんですね。ですからもう一度アンケートを採っていただいて丁寧に進めていただいたほうが当事者の方の保護者のご意見が反映されるのではないかなと思いますがいかがでしょうか。</p>
<p>委員長</p>	<p>関連して何かありますか。はい、どうぞ。</p>
<p>C委員</p>	<p>関連はしてないかもなんですけど、委員のCです。今の保護者の方の意見をまた聞くべきだという意見にプラスして、前回結構校長先生がいらっしゃっていて、まあ今日も校長先生いらっしゃってるんですけど。前回もその現場の先生のご意見、学校としてどう思われてるのか。要するに我々委員とは、前回事務局の発言はあったんですけども校長先生は3時で皆さんお帰りになってしまったので。やっぱり現場のご意見、学校としてどう考えているのかっていうのを聞いてみたい、というのはちょっと思っています。だから保護者の方と学校現場の意見とを踏まえて我々検討したほうがいいんじゃないかなっていう。関連してます、一応。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。他にこのアンケートの件ではよろしいですか。</p> <p>すみません、直接施設一体型にするかどうかということには関係ないんですけども、アンケートで親の意見あるいは教員の意見を聞いたほうがいいんじゃないかと。そのほうが私たち委員もいろんなことを考える時に考えやすいんじゃないかという意見なんですけれども。すみません事務局のほうそれに対しては直接は関係ないんですけども、どういうふうに考えられますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>アンケートについてのご意見のほうなんですけれども、アンケートというのは採るタイミングであるとか採る対象者であるとか。そういったところが非常に、なんていうんですかね、大事なやり方だというふうにわたくし理解をしております。ですので、いまの委員さんのご意見の中ではアンケートの意見をこの委員会に参考にしたいというような意見だったかと思うのですが、この委員会でいろいろな意見を言っていただいて、そして事務局のほうでまたどのタイミングでアンケートを採るべきかというところをしっかりと判断させていただくというのも1つの考え方であるというふうには考えております。</p>

B委員	<p>じゃあすみません、もう1回いいですか。</p>
委員長	<p>はい。B委員、前回アンケートのことお話しされましたよね。</p>
B委員	<p>アンケートというか……。ではBもう1回言わせていただきます。私は小学校の単学級と複数学級のメリットデメリット。それでまたこのアンケート19ページでしょうかね。またこの矛盾じゃないですけどね、3学級以上小学校これが70パーセントくらい。中学校に関しては4学級ですよ。そうするとはっきり言って保護者にまた採ったとしてもこれが大きく変わるというのは考えられないと思うんですね。そうすると建物を取るのか、それとも子供の学びの環境を取るのか。こういうような究極の選択になってしまう。私ははっきり言って3学級とか複数学級のほうがいいと思っています。いろんな考えはあるかもしれませんが、仲間がいたほうがいいんじゃないかなと、そういう気持ちはものすごく持っています。なので、いろんな意見は出ます。ただ私は立場を明確にしたいと思います。私は基本的には複数学級支持です。ただそれが毛呂山の人口が10年後3倍になって、子供たちが5倍になった。そしたら残しましょうよと、こうなります。その可能性があるのかどうか。そういうことを踏まえてですね、私としてはなかなかないのではないかと考えております。私はここでね、いろんな意見の中で変わってくると思いますが、最初の段階ではそのような形で立場を明確にしてお答えというわけじゃないですけどもね、私はこういうふうに考えてますということを述べさせていただきます。以上です。</p>
委員長	<p>はい、ありがとうございます。いろんな意見を出していただくというのがこの会の趣旨でございますので、そのような形で述べていただくのはとてもありがたいと思います。ただ中学校の4学級となるとそれは2つを一緒にしないとならない、具体的にはそうなっちゃうんですけどもそれはともかくとしましてそんな形でお伺いしたいと思います。</p> <p>すみません、PTAの方たちは前回のアンケートを採られた立場だと思うんですけども、覚えてらっしゃいますね。はい。変な聞き方して申しわけない。そこらへんで昔の意識と今の意識が変わったんじゃないかというお話があったんですけども、そこらへんはどういうふうにお考えか聞いても構いませんか。</p>

D委員	じゃあ私から。
委員長	はい、お願いします。
D委員	<p>Dです。このアンケートに対してなんですが、果たしてそもそもですね、ちゃんとこのことを理解してアンケートをしている親がいらっしゃるかっていうのが1つのあれだと思うんですが。私、小中学校の現状に対して単学級です、これは果たしていいのかなってところは正直ずっと思っていました。実際の話ですね、私もこう時々コミュニティ・スクールに参加させていただいてますが、いまの学校の指導状況を見る限りだと先生が主任の担任と副担任の2体制でやっているんですけど、それでも現状はかなり大変なんじゃないのかなってというのは肌感覚で感じております。で、これで今の現状のこれを見る限りクラス数で減少されていくと、先生の数が減ってくると当然教育レベルも落ちてくると。当然ケアができなくなってくるんですね。確かに教育レベルが落ちるか落ちないかの子供に関しての生活力とか、そういったところに関係はないのかもしれませんが。悲しいかなまだ学歴とかそういったものは当然見られていくのが現行制度です。これ少し親としては少しでも学力を上げていただきたいというのが切実な思いです。そのためには先生が減ってしまうというのは親としても困ってしまいますので、これに関しては仮に一貫にして学校の先生が多く集まるのであれば私はこれは賛成するっていう形で、このアンケートに関しては私は賛成はしましたよね、はい。どちらにしてもその、毛呂山町の教育レベルが全国と比べてね、どのくらい上がってるのか下がってるのかどのあたりにいるのかっていうのはわかりませんが。本来はその資料があれば1番よかったんですけども、そういった意味のもあって私は失礼な話ですけども、一生懸命学校の先生も頑張ってるし教育委員会の皆さんも頑張っているのは承知ですが、毛呂山町の学力レベルは高いとは正直思っていません。自分の息子を見てもあれって思うときもありますし、他のお子さん見ても。すごい子はいらっしゃるんですけどね。なのでこのアンケートに関してはちょっと正直、これだけの結果でこの段階ではうんとは言えませんが、私の感覚としては先生が減るっていうのが一番困ることだっていうのは思っております。</p>
委員長	はい、ありがとうございます。単学級だとやっぱり大変だというふうなことも感じていらっしゃるということですかね。

D委員	単学級でも大変だと。
委員長	(委員挙手) はいどうぞ、Cさん。
C委員	いまのDさんを補足するんですけど、実はあの埼玉県学力調査、挙げて るんですよWEBに。なので毛呂山町、埼玉県、学力でいま出てきている んですけど。国語、埼玉県平均65パーセント。これ多分テストかなんか なんですよ。に対して毛呂山町55パーセントなんです。算数が69パ ーセントに対して64パーセント。全国平均、まあさっきの国語でいうと 全国が64.7パーセント。埼玉県は65パーセントで超えてるんですけ ども全国に対して毛呂山町は55パーセント。全国が70.2パーセント に対して64パーセント、っていう状態なんです。こういうの調べればす ぐ出てくる感じなんです。例えば中学校も国語埼玉県65パーセント、 全国平均64.6パーセントに対して毛呂山町62パーセント。数学は5 7パーセントと57.2パーセントに対して毛呂山町52パーセントと。 現段階で単学級になってない状態であっても、多分学校は非常に大変な状 態なんじゃないかなと思ってます。で、だから私ぜひ校長先生にいまお話 いただけないかなというのが。いまのお考えというか、学校現場としてど うお考えなのかっていうのをちょっと聞いてみたい。これは別に突き付け て低いですよっていうのを言いたいわけじゃなくて、この小中一貫に対 してどういうご意見をお持ちだったり現場としてどういうふうにお考えな のかっていう。いま親御さんのお話をお伺いできて。でも先生の現場のお 話ってこの資料にまったくないんですよ。だからいまお伺いしたいと思 ってありました、はい。
委員長	はい。というお話なんですけども、校長先生のほうで答えしていただ けると。でもいろいろありますので。
C委員	いろいろあるんですか。
事務局	現状をお話いただくということで。
委員長	よろしいですか。もしそうしていただければありがたいです。すみませ ん、よろしく願いいたします。

E 委員	Eでございます。小中一貫の施設のあり方についてという話に戻させていただきますが、学力のほうに関しては大変申し訳ございません。
C 委員	とんでもない、そういうことじゃないので。
E 委員	<p>日々頑張って、これからも努力させていただきます。</p> <p>施設に対してですけれども、わたくしも一教諭としても長年教育現場におりました。多い学級でのいわゆる大規模校でも経験がございますし、近隣学校でもすべて単学級というところもございます。それぞれがそれぞれにメリットデメリットがあるのはよく承知しておるところでございます。教職員、また校長としてどっちがいいですかというご意見だと思っておりますけれども、結論だけ申し上げさせていただきますとどんな状況でも我々は全力を尽くしますという結論しかございません。実際どちらにしたらバラ色ということは決してないんだらうなというふうに思っているところです。ただ構造的な、先ほどもスライドで見ましたが大きな学校には大きな学校のデメリットがきっとありますし、小さな学校には小さな学校のデメリットがございます。そのデメリットをなるべく最小化し、メリットを最大化していく努力は必ず約束させていただきますが、このデメリットを現場でどうにかしろというのだけは止めていただいでですね。それだけは控えさせていただいてというところがございます。置かれた場所で全力を尽くさせていただきます。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。教員もやっぱり何年かするといろいろ動きまして、大きい学校にも行くし小さい学校にも行く。そこらへんでやっぱりその学校でデメリットをなくして子供のために頑張ろうというような形で皆さん頑張っているわけですので。ただ施設形態としてはメリットもあるしデメリットも出てしまうということだと思います。</p> <p>で、すみません。アンケートの話に戻させていただいていいですか。アンケートのほうで他のPTAの方はありますか、いいですか。</p> <p>(委員挙手)</p> <p>お願いします、すみません。</p>
F 委員	Fです、よろしくお願いします。わたくし自身が毛呂山中からちょっと遠いわけですね。オレンジ色というか赤までにはならないですけど、日々

	<p>見守り隊での子供を泉野小から目白台方面に一緒に歩いて下校を見守っているんですけども、泉野小から夏場なんかは特にこの赤のちょうど星のあたり、このへんにお家がある子なんかも本当に大変な思いをして歩いて登下校しているわけなんですけども。実際に小中一貫校の毛呂中になった場合に、現にこのへんにお住いの方で2歳だとかそのへんの子供いらっしゃるわけなんです。保護者さんも心配している声も私聞いているんですけども、学力もそうなんですけどどうしても通学距離、一部ページの中ではキロ数に関しては範囲認められていると記載があるんですけども、どうしても通学、これアンケートにも記載があるんですけども、1時間以内0.6パーセントとかって記載があったんですね1時間以内、はい。で、皆さん保護者さんはやっぱり30分以内20分以内、やっぱり私もそうですけども、泉野小建設中に1年だけ川角小に行ったときにやっぱり大変だった記憶がどうしても頭に残っていて、それがどうしてもこうアンケートを見ても気になってしまうわけで、ちょっと挙げさせていただきました。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。アンケートでも小学校で20分～30分、80パーセント以上当時の親たちが思っていたことですね。1時間っていうのは大人の足で歩いて4キロになりますね。だからちょっとそこらへんで行くと4キロっていうのは、いまオッケーになっているけどもはたしてどうなのかなっていうのもあるのかなっていうことも考えられてはいらっしゃるんじゃないかなと思います。</p> <p>それですみません、アンケートをもう一度……それは最後でいいですか。もう一度なんか採ってほしいというふうな要望だったんですけども、それをどうするかっていうところでどうなのでしょう。委員のほうで採ったほうがいいというような意見が多ければ事務局としては採っていただけというふうなことになるんですか。</p> <p>(事務局挙手)</p> <p>すみません、お願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。この委員会に活かせるタイミングで採るのが必要だというふうな判断ができるのであれば採る必要があるとは思いますが。アンケートを採るにはご存じのとおり準備もありますし、集計もございます。そういったところを総合的に判断をさせていただかないと、アンケートを採ります、すぐに結果が出ますというところにはなかなか難しいと思えますし、先ほど回答させていただきましたとおりアンケートを採る目的であ</p>

<p>委員長</p>	<p>るとかをしっかりとはっきりさせてアンケートを採るのが、一番アンケートの効果が得られるというふうに考えております。</p> <p>はい、わかりました。とりあえずアンケートについてはちょっとやってみる中でこの場面ではアンケートがあったほうが良いというふうなことだったらやっぱり採っていただくようになるかと思えます。それはもう少し皆様のご意見をお聞きしてから考えたいと思えます。</p> <p>ではすみません、他に何かご意見がありましたらお願いいたします。</p> <p>(委員挙手)</p> <p>はい、Gさんお願いいたします。</p>
<p>G委員</p>	<p>今日はちょっと遅れまして申し訳ないです。統合に向かってこれ進めると思うんですけども、現行のままが良いという意見が非常に一般の方も、あと保護者についても半分以上が今のままが良いという意見が多いですよね。そのへんをどうやって説き伏せて賛成をもらって統合していかないとまずいのかなという気は、近くで見て感じるんですよ。一般の人たちはとにかく、保護者さんがちゃんと子供さんが学校行って学んでもらえば一番いいのかと思えますけども。やはり地域を預かる一般の方にしてもやはり現行のままですって、分離型ですよやっぱり。それを望む一般の方、非常に自分の中で聞いている声がたくさん出てるんですけども、ですからそのへんをどうやって納得させていくのかというところもね、ちょっと考える必要があるのかなと。私は部外者ですけどもそういうふうには感じております。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。Gさんはそれを納得して施設一体型のほうに持っていったほうが良いというふうにお考えでいまの発言をされたわけですか。</p>
<p>G委員</p>	<p>自分です、財政面から見てもやはりこのまま分離型だと非常にお金がかかってしまう。やっぱり一度にかかる、統合するときにはかかりますけども、やっぱり長い目でみて十何年後に全部半分になってしまうという状況ですからそれはやっぱり統合してもらったほうが。周りを納得させてもらえればそれでいいんじゃないかと思えますけども。自分は統合に賛成です。</p>

委員長	<p>財政面から考えても統合に賛成ということですね。はい、わかりました。</p> <p>(委員挙手)</p> <p>では後ろのA委員。</p>
A委員	<p>施設一体型を提案されてるんですが、先ほどの説明のソフト面のご説明なので、ちょっと申し訳ないんですがハードウェア的な説明がまったくなくて施設一体型にしましょうというふうな説明を私たち受けてるんじゃないかなという感じがするんですよ。実はですね私、小中学校の経験があるもので、例えばハードウェアで皆さん学校図書館はご存じでしょうかね。小学校の学校図書館というのはちょっと特殊で、小学校の低学年向けに絵本をいっぱい集めてまず文字に慣れさせるという。そこは寝転がってもいいしというふうな、そういう低学年向けの図書室。高学年向けの図書室は別です。中学校にすれば絵本はまずない。いろんな調べ学習に対応するような図書室。そうすると教室は足りるっていうふうにご提案がありましたけれど、そういう設備についての提案がちょっと不安だということですね。それから体育設備の問題。小学校のプールは70センチくらいでありますから、中学生が泳ぐときには70センチだと手が付いちゃいます。じゃあどうするかっていうと中学校のプールは1メートル10センチとかそのくらいのプールになってる。入れ替えればいいじゃないかっていう話があるんですよ。でも一週間の中でそれを頻繁に入れ替えるっていうのは相当町の財政負担にもちょっと、圧迫という感じがね。体育設備があとサッカーとかバスケットがあるんですけども。あと中学校のグラウンドにちょっと僕考えて恐ろしいなって思ったのはジャングルジムを入れるんですかっていうことですよ。小学生が遊べるようなブランコだとかジャングルジムとかそういったものを入れて、小学校は休み時間に遊ばせるんですね。遊びがないとやっぱりいろんなものが発散しませんから。今でもある学校はサッカーと野球で交互に使ってるんですね、部活動の練習で。そこにはたして小学校の遊具を入れられるんでしょうかなと。あと音楽室とか理科室とか小学校でしか使わない、準備室別にしなきゃいけないんじゃないかな。先ほどもありましたけれども、4キロ越えての通学を毎日強いるということになるとスクールバス、それからシャトルバスを運営しないといけないところがやっぱり統合した施設一体型はどうしても出てくるんじゃないかと。そういうですね、私申し訳ないんですがハード面の提案がなくてこれを審議しなさいというのはちょっと恐ろしいと思いますね。</p>

	<p>そういうハード面の見通し、実際の通学距離の増加に対する見通し、そういったやっぱりちょっと不安に思ってしまう人が多くなりはしまわないかなあ。そこをなんらかの手段で乗り越えないとご提案の施設一体型はなかなか、そうですね。それで教員の数も減るわけですよ3人4人。ですからそういったこと不安をどうやって解消なさるのかなと。具体策がちょっと欠けてるのではないかなあという感じがいたします。はい、以上です。</p>
委員長	<p>はい、ありがとうございます。新しい施設一体型の学校がどういうふうになっていくかというところがやっぱりイメージできるほど、提案がなされてないというふうなお話だったんですけども。</p> <p>(委員挙手)</p> <p>はい、お願いいたします。</p>
B委員	<p>たびたびすみません。最初にですね、教育委員会の方がですね1951年日本の農業人口が51パーセント、それがですね現在は4パーセント。実を言うと1964年に工業人口と農業人口が入れ替わってます。そして1970年、70パーセントが工業人口。これはどういうことか。いままでですね農業というのは家の近くに仕事があった。基本的には職住一体という形式でありました。ただ1964年高度経済成長時代から、人は会社に通うようになったんです。これが工業化社会です。ただいま聞くと現在16パーセント、10年後には8パーセントになってる。で、学校というのは義務教育。これはですねやっぱりこの将来の産業形態に合わせてですね、国がですねやっぱり向かう方向を義務付けてるものだと思います。そうすると学校には必ず行く。朝8時に行く、休まない。これはそうでないとラインが動きませんから。これがいわゆる工業主義社会です。ただこれがどうでしょうか、いわゆるいまコロナの中で徐々にリモートとか、いろんな場所を変えて授業を行うとか。これは2000年に始まった総合的な学習の時間、これはいわゆるですね実践的なコミュニケーション。やっぱりこのようなところでですね、教育の形がですね2000年を境に大きく変わってきているんです。いわゆる詰め込み教育から、やっぱり考えてそしてアクティブラーニングっていうか歩きながら考えるっていうんですかね、そのようなものになっています。じゃあこれから10年後、本当に毎日学校に通う時代が来るのか。私はちょっと否定ですね。何かの目的があった時に集まる集団になるかもしれません。そうした時にいまこう</p>

	<p>だから次はこうだから、逆に考えると車が自動運転がどんどん始まってくる。こういう中で通学が逆に言うと、家の近くまで自動運転のバスが来る可能性が高くなってる。これは未来志向をやっぱり入れていくべきではないか、私はそう考えてます。もうすでにですね、学校に毎日行く時代は過ぎ去ってきているんです。これ申し訳ないけど、紙の教科書はデジタルに変わります。この大きな転換期にやはり来ていますので、やはりいままでこうだったからという考えは少し変えたほうがいいかもしれません。これはあの実際、本当に20年前と今との大きな変革がありますので。その点もちょっと踏まえていただけたらなと。確かに現場でやってた方の意見もわかります。ただ、これからの未来志向はちょっと違うんじゃないかな、と私は考えてますので、そのへんを踏まえてご検討いただけたらなと思っております。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい。学校にはいままでのような設備はいらないというふうなお話ですか、そうではないですか。変わっていくということですね。ちょっとイメージ湧かないですが、私の頭が古いので。申し訳ありません。ただPTAの方たちは新しい施設一体型小中一貫校がこんなふうな建物でこんなふうになってこんなふうな校庭になってるみたいなそういうようなイメージっていうのはお持ちですか。いままでのゆずの里通信とかそこらへんから受けた印象としては。あとお子様がいらっしゃるHさん、そう、みなさんいらっしゃる。そういうふうなゆずの里通信とかいろんなお話を聞いてそういうふうなイメージというかこれはわかってるというふうに私たち委員は解釈してよろしいんでしょうか。どうなんでしょう、ちょっといまわかってないんじゃないかっていうふうなお話が。</p> <p>(委員挙手)</p> <p>はい、すみません。</p>
<p>I 委員</p>	<p>I です。1点まずは質問させていただきたいんですけども。施設一体型小中一貫校のことについてなんですけれども、わたくしの記憶ではですね施設一体型という言葉がガチッと頭についたのがちょっといつだったか曖昧でして。これが決められたタイミングをちょっと教えていただきたいなと思ったんですけども。</p>
<p>委員長</p>	<p>(事務局挙手)</p> <p>お願いします。</p>

事務局	<p>はい、お答えいたします。施設一体型小中一貫校、こちらがいつだっていうお話なんですけれど、教育委員会が定めたというか目標としたのが平成30年8月。こちら前回の資料にありましたプロジェクト基本方針、すみません第1回の資料なんですけれども。そちらのほうで施設一体型校舎が望ましいというようなことで記載をしたのが平成30年8月。以上です。</p>
I 委員	<p>もともとはそのへんに関してはちょっといろいろとその施設一体型にするということに関しては、相当の話し合いとか説明っていうものがない限りは保護者を含めて先ほどAさんが仰ってたように納得させるのは難しいことになるだろうとは、僕は当時説明を最初に受けた時に感じておりました。毛呂山小学校区に関しましては施設が隣接してますので、そのへんに関してはなんとか上手くできることもあるんじゃないだろうかというような考えを持っていたんですけれども。こと川角中学校区に関しましては、これはどういうふうにするのかなというイメージを当時から思っていました。恐らくこれが施設一体型ということに決まりましたらそれ相応の説明が必要になるなというイメージを受けてました。なのでちょっと楽観視してたところもあったんですけど、毛呂山小学校に子供が通っている親としては隣接してる施設で上手く活用していただけるのではないかというふうに思っていたところがありまして。僕が今日、施設一体型で行いますっていうふうに認識したのは多分今日というか、この資料が配られて初めてじゃないかと。申し訳ないですけど思いまして、そのへんのことに関して。なので一体型ということになってくるとちょっとイメージが変わってきちゃうかなというふうにちょっと思うようになりました。でですね、この話が最初にあった時点で施設のコスト面とか、そういったものが絡んでるっていうことは当然理解はしていましたが、申し訳ないですけど町からそういう説明が、この教育委員会に説明していただくということは酷かなと思っはいますが、先ほどGさんもそう仰ったのでちょっとここでそういう発言をしてもいいのかなと思いましたが。コストという面の説明を踏まえた小中一体型というところの説明は、受けた記憶は申し訳ないですけどございませぬ。なのでそういうことなんでしょうなというのはわかってはありましたが、こういう話が出たのであればそういった部分を踏まえた説明を公にしていくべきではないかなというふうに私としては感じます。ではないとおそらく現状この教育委員会にプロジェクトの中心になって進めろと言ってやるのは厳しいんじゃないかと思っております。そこらへん</p>

	<p>に關してもうちょっと説明の仕方を変えるべきではないかなというふうに思っております。なので子供目線とか親目線とか教育目線ってだけで考えてたらこの話は進まないんじゃないかなとすごく思っていました。あまり長々と申し訳ないんですけども、この話がちょっとこう改めて挙がった時点で私も学校の保護者にお話を伺ったりしたんですけども、今回ここにもちょうど小学校と中学校のメリットデメリットいろいろ記載されていていろいろと思ったところなんです。どこに目線を置くかっていうところですね。財政なのか、子供なのか、教育なのか。そこをどこに重きを置いてこれを進めるのかっていうところが結構ぼやけてしまっているというか、曖昧なところがやっぱりどうしても感じてしまうので。そのへんをやっぱり町のほうとしてもうちょっとはつきりさせておくべきじゃないかなというふうに。</p>
C委員	<p>ちなみにIさんはどの視点ですか。</p>
I委員	<p>もともと小中一貫校の説明を受けたときにはDさんが仰っていた通り、統合して教員の質と人数というバランス考えてまあ致し方なしかなというところもあったんですけども。いまそのいろいろこうなんていうんですかね、今回初めてメリットデメリットを見たりとかした場合に親としては教育も当然大切で。教育に通じるところで先生の業務も当然大切になってくるかなと思ひまして。これを見る限りですと子供に目が届きやすいっていうのは教員の視点といたしましては施設一体型じゃないほうが目が届くというふうになっているんですねこれだと。このメリットデメリットちょっとどこからの出どころのメリットデメリットだかちょっとよくわからないんですけども、ということが書かれておりましたので。僕まだ決めかねてはいますけども、どちらとはまだ言えないんですけども。これを見る限りだとなんとなく先生と子供という関係、教育の面で考えた場合には一体型じゃなくてもいいんじゃないかなと少しそういうふうに思うところもありますっていう、いまそういう感じですね。なのでお話を皆さんで進められる中でどういったことがいいのかなというのは考えていきたいとは思っているんですけども、現場というか個人的な感覚ではそういうふうに感じております。恐らくFさんなんかはやっぱり距離のことなんかも、学校に通う距離。Bさんも未来志向なんかもありましたけど。それが可能であればいいんですけども、現状のところではそういうのはちょっと気になる親御さんもいるんじゃないかなというのがあります。以上です、すみません長くなりまして。</p>

<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。いまの段階ではどちらに決めなくても、それは人の話を聞きながらやっぱりこっちがいいな、でもやっぱりこっちだよというふうなことでいろいろ考えていただくための会ですので、それはそれでいいと思うんですけれども。いまの毛呂山小学校は施設隣接型の状態なんですけれども、施設一体型になったら毛呂山小学校も毛呂山中学校に吸収されるというふうに、だから毛呂山中学校に毛呂山小学校と泉野小学校が入りますというふうな形で説明はされています。毛呂山小学校は何か別の用途で。だからそういうふうになった時にいまここで出された資料の中ではいままで200人300人くらいの敷地に600、700くらいでしたっけ。その子たちが入りますと。教室は足りるか、足りないところは増設されますと。そして、教員の数も少し減りますみたいなところは今日の資料から、学校が遠くなりますみたいなことは今日の資料からわかるんですけれども。それに対してどうなのかっていうところがまだ示されていません。</p> <p>はい、お願いします。</p>
<p>C委員</p>	<p>すみません全然関係ない話なんですけど。傍聴要領に、第5条傍聴人はみだりに傍聴席を離れないこと、今日1人離れた方いました。2項3項、私語、談話または拍手はしない。議事に批評を加え又は賛否を表明しない。他以下ありますが、非常に私語が多い。気になって仕方がないですね、要領読んでらっしゃいます。私語禁止でお願いします。すみません全然私Iさんのお話もAさんのお話も入ってこなかったです。書いてありますのでここに。よろしくお願いします。</p>
<p>委員長</p>	<p>すみません、私のほうから注意すべきなんです。私こっちのほうに夢中になってしましましてできませんでした。すみません傍聴者の方々、私語禁止ということで、あるいは拍手も禁止ということでよろしく願いいたします。どこまでいったっけ、忘れちゃった。</p>
<p>C委員</p>	<p>すみません。</p>
<p>委員長</p>	<p>そうだ思い出しました。その新しい施設一体型小学校についての説明がまだ教育委員会のほうからなされていないんじゃないか。A委員のほうから</p>

	その細かいところはどうなるんですかっていうふうな質問、質問ですかAさん。
A委員	はい。
委員長	はい。質問があったんですけども、
G委員	提案がされてないもんですからね。
C委員	<p>じゃあこれ例えばですけど、いまのAさんの話もよくわかるしIさんの話もすごくよくわかる。で、私は川小川中に息子がいるんですけど。なんか例えばアイデアとしてね、毛呂山小中はせっかくもろっ子橋が、私見たことないんですけど、渡ったんであれば小中やってみるとか。逆に川小川中はまだやってみないとかみたいなの。なんかそういう半々みたいなの。さっきのプールの問題みたいな毛呂小毛呂中だったら横でできるわけですし、体育館も横でできる。川小川中はねなかなか橋渡すのもトンネル作るのも難しそうですけど。なんかね、そういう片方でやってみてどうだったかっていう実験をしてみるみたいなアイデアも。実験っていうとなんか本当申し訳ない、川小川中なんて好き放題言ってますけど。なんか毛呂小毛呂中でまずっていう段階を経ていくみたいなお考えとか意見というのはどうなんだろうなっていう。だからそれでやってみて上手いかなかったら元に戻すのかとかね、あるかもしれないですけど。その一気っていうのはすごい不安ではあると思うんですよ。</p>
委員長	はい、ありがとうございます。それも含めて新しい提案でもいいわけですよ。ねここは、まずいいですか。どっちかということですか。
事務局	広くたくさんの方の意見をいただく場というふうに認識しております。
委員長	はい、ありがとうございます。ということなのでその意見もあるし、また新しいこういうふうな形みたいなものもあつたらご提案していただければ、それはそれで検討委員会の中身の話として報告されると思います。ということでもいいですか。

事務局	<p>(事務局挙手)</p> <p>はい、お願いします。</p> <p>すみません補足なのですけれども、皆様の意見はたくさん出していただきたいというふうには考えております。ただその意見をそのまま必ず教育委員会が使うというそういうお考えは考えないでいただきたいんですけれども。あくまでもたくさんの意見を出していただきたいというふうに考えております。</p>
委員長	<p>最後にはきっと事務局のほうでこういうふうな意見が出ましたみたいな形でまとめられると思いますけれども、いろいろな考えを出してこの毛呂山町の子供たちがよりよい教育が受けられるようにということが主眼ですので。ある意味子供たちにとってどういうふうな施設が一番いいのかというふうなところを念頭に置いて考えていただければというふうに思っております。</p>
C委員	<p>そういう意味では先ほどのAさんの意見って非常に画期的というか、確かになかった視点でハード面。プールをどうする体育館をどうする。それから多分教室の広さ、わからないですけど机椅子。そのへんちょこちょこ書いてあったはあったかもしれないですけど、確かにそのの深掘りってなかなかないじゃないですか。深掘りないままでじゃあこの委員会で触れませんでしたってなっちゃうと意見が出ないですよねそもそも。だからそのAさんの視点をすごく重視して、統合するしないにしても、統合するにしたら絶対に直面する問題であると思うので、そのへんの何か。先ほどIさんも仰った予算面、それってハード面と同じことだと思いますよね。まあ例えば小学校と小中統合した、プールは深さを90センチ、間をとって先ほどの1メートル10センチと70センチの。90センチで作った25メートル。そうしたら予算的にはこうなってああなったっていうのは。あ、すみません90センチだと小学校1年溺れちゃいますよね。小学生用に2個作らなきゃいけないのかとかね。だからいまの教室の数としては足りるであろうとか、耐震補強は毛呂中川中はしましたよねみたいな話までは出たと思うんですけども。そこから本当に小学生を迎え入れた時に体育館本当はこうやって改修しないといけなかった、後出しでね増えてっちゃうっていうのも。で、実はスクールバスも合わせたらすごいお金がかかったとか。じゃあお金かかったからBさんのリモートでやろうみたいになってくるとまた話が違ってくる。じゃあ皆さんの自宅のね、インターネット</p>

環境はどうなんだっていう。中学校のインターネットはっていう話になってきちゃうんで。何かそういうハード面、だからそこは教育委員会のなんというんだろう、本丸じゃないっていうか。もしかしたら町の中でこう施設に関してはまた別の課だみたいな話になるのかもしれないです。でもなるんだったらなるでお話聞かないと多分意見は出せないと思います。でそのために2カ月に1回こうやってるわけなので。その間で何かハード面予算面、小中もし統合をしたとしたら毛呂山中学校だったらこれくらいかかる、毛呂山中に毛呂小を統合した場合こうなる。なんだか私が毛呂小と毛呂中を一緒にしたいみたいな感じですけど、じゃなくてモデルとしてこうなるみたいなものをお示しいただけるのであれば資料で出していた方がいいのかな。そんなんでもいいですかね、それがあれば先ほどのGさんの親御さんが納得するという意味でも。多分その説明がないまま小中一貫にしましょうみたいな話になっちゃうとさっきのBさんとかも話していたけれど、単学級は嫌だって言ってる人たちがいっぱいいるのに、でも現状のままがいいって言うってことはアンケートの方もまったく理解しないまま答えてる。で、もし本当に事務局の言う通りでいまこのタイミングでアンケートをしても同じくらいの小中一貫に対しての理解力であればこれに近いアンケート結果がでてくるであろうことも想定できる、6年前ですけど。ってなるともっと具体的にこれくらいお金がかかる、これくらい削減ができる、でこういうことができるみたいな話を提示したほうが。多分よく政府が言う丁寧な説明、丁寧な説明をしますって言って何もしないやつですけど。でもそれが多分数字として出てきたり、現実的なことが降りてきたほうが説明としてはいいんじゃないかなと思うんですけど。それに対する資料お出ししていただくことって可能だったりしますか。

事務局

すみません、ちょっと細かい部分でのお話になってしまうんですが、先ほどA委員さんからご意見いただいたプールの問題であったり図書館の問題であったり、こういったものはですねやはりある程度施設の形が決まってからまた決めていく。先ほどEさんが仰ったように学校のほうは最善を尽くしていくというところで改善をしていく内容でもございます。例えばということなんですけど先進事例ではですねそういったものも調べております。いま図書館についてはこれがいいか悪いかというのをまた今後学校とも相談しながらではあるんですが、やはりいまタブレットが1人1台入っていてですね、電子図書館も出ています。そういった部分での活用、ただ紙の絵本の良さも当然ありますので、そういった棲み分けということもこれからは考えていく必要があるなど。プールにつきましてはやはり小学生

	<p>中学生体格が違いますので、これもう教育委員会のほうでも当然課題としても挙がっております。話している中では時期を分ける。先に身長の高い低学年から期間を設定して行って、そのプール期間が終わったら次の学年。</p>
C委員	<p>水深はそのまま、水の量を変える。</p>
事務局	<p>そうですね。カリキュラムの問題もございます。ただここはクラス数もかかってきます。すごい多いクラス数になるとやはり使う児童生徒も多いので、適正な時期はじゃあいつの時期がよいだろうといったところ等で施設の使い方、安全面も含めてですね。遊具の話もありました。すごい人数が多ければ当然子供同士がぶつかる危険性もあります。ただ人数が少なすぎると今度はまた単学級であったりとかそういったデメリットも出ます。プールの話でいくと単学級の学校ですと校長先生がプール指導というか、子供の安全を見るために。担任の先生が1人しかいませんですからね。学年っていう形でもないの。教員の配当人数にもこちらかかってきます。そういった状況もございます。中学校の先生も同じ校舎にいて同じ施設にいれば、そこは一緒に見れるんですね。こういったメリットも考えていますのでそういった細かい部分を全部を全部説明文にしていくと、非常に量としては多くなってしまいかなど。</p>
C委員	<p>でも逆にいま検討されてたんですね。情報としてはお持ちだったんですよ。</p>
事務局	<p>そうです、情報としては持っていました。</p>
C委員	<p>これに出てないっていうことがいま問題なわけで。あと言っちゃいますけど、マイクそこ持つと反響しちゃいますよ。</p>
事務局	<p>すみません、はい。申し訳ないです。それで細かい部分で全部をQアンドAにしてお出しすることも可能ではあるんですが、いま資料としては載せていなかった部分もございますので。そちらはまたあの、以前も広聴会で同様の質問を受けていて回答している場面もございます。そういったものもまたお示しする形で考えております。以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。広聴会が6回開かれているんですけども、そ</p>

	<p>の中身については前回ちょっと、ちょっとですけれど広聴会の中身がほとんど載っているようなものではなくて、ちょっとだけ載っているという、なんていうかな広聴会の記録からするとほんとちょっとしか載ってないものがあつたんですが、やはり広聴会で答えたのを全部載せてもらうとなんとなくわかるのかなと。</p>
C委員	<p>でもそのハードウェアの面のことだけですよ。</p>
委員長	<p>はい、そうですね。</p>
C委員	<p>いま水位の話なんか、確かに面白い。</p>
委員長	<p>はい。いろいろやっぱりありますので、それを出していただければ。あるいはもっとまとめた形でも結構なんです。多分PTAの方たちもそこらへんのことについては、いま一緒になることを知ったと言ったくらいだと思いますので、わかってないと思いますので。話し合いの基礎として必要になってくると思いますので、それはぜひ出していただけたらというふうに思います。</p>
	<p>(事務局挙手)</p>
	<p>はい、すみません。</p>
事務局	<p>よろしいですか。いまの広聴会の資料ですけれど、前回の資料の3ということですすみません。まあ3ページということで、委員長のほうからちょっと少ないんじゃないかと話がありました。ですので、もうちょっと会議の資料として耐えうるような資料を検討させていただきたいと思います。以上です。</p>
委員長	<p>すみません、その後の話し合いでこういうふうに決まったということがありましたらそれも一緒に載せてお願いします。広聴会の時に検討中なのでみたいなのがいっぱいありましたので、それももし検討が終わってたらお願いいたします。</p>
	<p>(委員挙手)</p>
	<p>すみません、もうお一方、Jさんすみません。</p>

J 委員	<p>多分お声がかかったのは地域の住民の、多分皆さんの親の世代ですね。いまわたくしもみなさんのお顔を見た時、うちの息子が上が50、その下が大体40から45くらい、3人おりますが。その子供たちが何やら学校の、孫もいます高校生もいます、小学生もいます。話をしているのかなという感じのことを聞きまして、ここへこの席にあり方検討委員会の。これ本当に愚問で申し訳ないんですが、もう決まってこれからこれはどうしようとするのかっていう話なのかなっていう感じで、本当に愚問で申し訳ないんですが知識がなくて。一応すべて読んでいろいろなものを、来ています。多分あの、Gさんにお話聞いたんですけれども、確か何年前にこの小中一貫のほうの見学に行ってますよね。</p>
委員長	<p>大洗ですか。</p>
J 委員	<p>その見学もそれも相当の年数になりますよね。毛呂山町はまだ早くやらないのかなっていうそういう状況でおりまして。先ほど交通の便がという、この交通の便も私たち民生委員は各地区に1人ずつおりまして、私たちは児童委員も兼ねております。その中で通学とかそういうところの見守りもしています。で、その中でやはり山のほうは通学が大変ということでバスを教育委員会にお願いをしてバスを出していただいたりとかそういうこともしております。ここで何かを一言言っていないかと思ひまして、恥を忍んでではないんですけれども。自分がいま思うことはできればもう前に進むという形で、これは私自身の思いなんですけれども。前に進むという形で小中一貫校を進めるんだという形で行っているんですよ。</p>
C 委員	<p>ゼロベースです。</p>
J 委員	<p>あり方についての検討会ということで。でも多分なんですけれども、確実にここで検討会をしてみなさんそれぞれの分野で年齢も違って。ただこの一貫校になった時に、先ほど人と人との繋がりということとか、いろいろ書いてありましたので、ぜひ少子高齢化ということも考えて、皆さんのお子さんがある方も結構なんですけれども、これからどうあるべきかということでしたら多分スムーズに行くのではないかと。すみません老婆心ながら思ひまして。子供のこと、産まれておぎゃあと産まれてから義務教育、まあ高校や大学は人それぞれなんですけれども。そういうこともちょっと考えた小中一貫のことも考えていただければと思うんですけれども。</p>

	<p>すみませんあのまとまらないで。とりあえず、私の気持ちは老婆心としてちょっとただけなので、恐れ入ります。何がなんだか自分でもわかりませんが、若い方のお話をずっと聞いておりました、何か私もちょっと喋っていいのかなと。すみません失礼いたしました、お時間ありがとうございます。</p>
<p>委員長</p>	<p>いえいえありがとうございます。そういうふうなお話をこの場ですべていただいたことやっぱりとてもありがたいと思います。</p> <p>どうぞ、G委員。お願いします。</p>
<p>G委員</p>	<p>もう1回ちょっと、こういうことはどうなのかなということで。実際ですね毛呂山町と同じような状況で一貫校になったところがこの近隣にもあるのではないかなという、そういうのは調べたことがないんでしょうかね。それでもしそういうところがあれば、こういう状況でこういうふうにやってきましたっていうのをやっぱりたたき台ではないですけども、または猿真似でもないですけど。そういうものをお示ししていただければじゃあ毛呂山町もこのへんでどうなの、これでいけるんじゃないのとかってね。まあたたき台にはなるのかなっていう。そういうの調べていただいて、もし近郊にそういうところがあれば調べていただいて。次回でもいいですけど、できればねそういうものがあると会議がしやすくなるのかなっていう、ちょっといまふと考えたものですから。ただ前に大洗に行ったときは、あれはちょっと現行とはちょっとかけ離れた状況なのかなと私感じてるんですよね。毛呂山町とは全然違うなっていう。まあ素晴らしい学校でしたけれども、これを毛呂山町っていうイメージは湧かないですね。だからもっともこのシンプルにね、この毛呂山町の状況に合った、近郊に似たようなところがあるのではないかなと思いますのでそのへんもお調べしていただいて、次回でもその先でもいいんですけど、何かこうたたき台になるような、会話しやすくなるような資料があればいいのかなってふと考えまして。</p>
<p>副委員長</p>	<p>いまゼロベースの話があったんですけど。事務局のほうから何かちょっと言いたそうな雰囲気を感じたので。</p>
<p>事務局</p>	<p>すみませんよろしいですか。この委員会は小中一貫校のあり方について意見をいただくために委員会のほうを発足させていただいたのですけれども。前回のわたくしのC委員からの質問、これに対して8年10年、これ</p>

	<p>をどういうふうに考えているんですかという質問に対して非常にあいまいな回答をさせていただき、決して私ゼロベースという言い方はしていないんですけども、ゼロベースという印象を受けた方がいらっしゃるという状況があの時起こってしまったというところは非常に反省しておるところです。今日も資料のほうですね、教育委員会のほうが施設一体型を今まで目指してきた、これをたたき台に皆様にいろいろな意見をいただきたいということでの資料をご準備させていただきました。その再検討というところをご理解していただきたいというふうに、もう一度ここでお願いいたしますのでよろしくお願いたします。</p>
<p>委員長</p>	<p>(委員挙手) すみません、じゃあどうぞ。</p>
<p>D委員</p>	<p>今日この話聞いてる限りでは皆さんが一様に納得することは恐らくないと思ってます。だから私が思うにはいいと思うならまずはやってみることなのかなと。で、やってみた挙句ダメなところは今後改善して行って、何も1年後2年後すぐっていうことはなさらずにですね数年、もしくは10年かけて毛呂山の教育モデルを作り上げていけばいいのかなってというのは率直な感想です。いまだけでパツていうのは、多分恐らくあと3回ですか、3回では無理だと、その中でがちっとしたようなのは。先ほど言ったようにハードウェアとかっていうのは教育委員会多分できないと思うんですよ。実際の話コンサルティング会社が入って建物に対してどれくらいの予算がかかるのか増築するのかすべて把握しなきゃいけないので。それを予算を教育委員会に出させようとしても多分無理でしょうし。それを無理に発注するためにはまたね、年度の予算を組んで来年度発注。当然この会には間に合わないですよ、はい。なのでやはりこれに関しては意見という形で出さざるをえないのかなって正直なところ思っています。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。お時間もだいぶ押してきましたので今日はこれくらいにしておきたいと思いますが。まだご意見言いたい方がいましたら。</p>
<p>K委員</p>	<p>ちょっと発言をお許しいただきたいと思います。仰るとおり全員が納得する意見はまず出てこないかもしれないですけど、とはいえ議論の拠り所は欲しいなと思ってます。これ率直に町側に伺いたい質問なんですけれども、町の財政を優先するのかまたは子供の教育を優先するのか。優先順</p>

<p>教育長</p>	<p>位としてどちらのほう为上にあるのか、これをお聞きしたいなと思います。これが結局議論が右往左往している一番の原因なんじゃないのかなと思いますので。率直に聞かせていただきますと助かります。</p> <p>ご質問にお答えいたしますが、財政が優先なのか子供の教育が優先なのか。教育委員会といたしましてはやはり教育を優先させていただきたいと思っております。が、町の施設でございますので町の財政の理解も得なければいけません。どっちが優先と言われましても、町全体を考えると然るべき理由をきちんと付けてですね、きちんとしたお答えをいただくのはなかなか難しいかと思えます。いずれにしても私たちのほうはこの趣旨、小中一貫教育を行う趣旨というのはもう子供たちの学習、教育環境を整えるためでございますので。そのためのご意見をいただきながら進めて参ります。町当局ともね、財政面でのお話はさせていただいております。町全体の収入、歳入からですね教育にいただいておりますお金は年10パーセント程度でございますが。やはり川中毛呂中の大規模改修の時にはそれを上回る財政の負担をいただいております。ですのでいま中学校は設備的にはなんですけれども改修された中なんですけれども、4小学校につきましてはこれから存続させるのか改修をしながら使うのか、あるいは中学校に統合するのか。そのへんのお金の件についてもですね、財政当局とは十分な意見交換、話し合いをさせていただきたいと思えます。以上です。</p>
<p>委員長</p>	<p>よろしいですか。</p>
<p>K 委員</p>	<p>ゼロ回答をいただきました。</p>
<p>委員長</p>	<p>もう少しいいですか、大丈夫ですか。</p>
<p>K 委員</p>	<p>大丈夫です。</p>
<p>委員長</p>	<p>小中一貫教育がいま行われているので、いまの状態の小中一貫教育がだめだということではないと思えます。先生方はもう力いっぱい、どんな施設形態でも先生方は力いっぱい取り組んで子供たちによりよい教育を施そうとしている、それは変わりないと思えます。ただそれが施設一体型がいいのか施設分離型がいいのかってところで町のほうが施設一体型で進めたいっていうふうな形で出されてきたものだと思います。</p>

	<p>それで次回までにちょっと要望が出てたんですが、毛呂山町と同じ状況であるような施設一体型の学校があればそれについて調べて状況を報告してほしい。そうすれば話し合いの糧になるのではないかというふうなのが一点。細かいところまではなくてもいいんですけども、施設一体型のだいたいイメージというものがいままでの広聴会のなかであつたら出してほしいということです。アンケートについては採ってほしいというのといま採っても同じじゃないかと、そういうようなことが出ましたのでこのことはお任せします。</p> <p>そんなところで一応今日のところは。</p>
C委員	<p>モデルにしている学校はあるんですか。</p>
事務局	<p>モデルにしている学校はあるかというご質問ですけれども、モデルにしている学校というものはあるかないかと言われればございませぬけれども。ただ実際先進事例というのはございますので、すっかり毛呂山が同じことをしなくてもいいとは思いますが、委員長が仰ったように参考にするためということであれば状況のほうを調べたいと思います。</p>
委員長	<p>(委員挙手)</p> <p>はい、どうぞ。</p>
H委員	<p>すみません、Hと申します。今回いろいろ考えて自分でも情報を確認しにいったところ、町のホームページにも結構いままでの資料とか、先ほど広聴会のQアンドAのもっと突っ込んだのとか結構いろいろありました。ただちょっと録音されてるんで言いにくいんですけど、僕ら保護者としてもやっぱりそのレベルの違いっていうのはあって、関心がない人もいれば関心があって、こういうふうにみんなでいい議論をされる場もあるんですけど。それを例えば広報で1ページとかでいまこういうことやってます、その情報はできればQRコードだとありがたいんですけど、ここに行ってもらえばいろんな資料が見れるので、閲覧をしてくださいとか、自分たちが見に行きやすいようにしていただきたいんですよ。広報が難しければプリントで保護者に配っていただくとか。そういうなんかこう議論をいまして、こんな声が挙がっていますっていうのをしっかり、勝手に入ってはこられないですけど、みんな保護者の方が関心、目に留まるようなところで配信してほしい。実は広報に載ってるんですけど。あとは前回の議事録もちゃんと一言一句漏らさず載っていて、結構感心したんです</p>

	<p>けど。ちょっとやっぱりそれをわかっている方というのは少ないと思うので。ネットに載っているんで、それをここから行けますっていうのを一つ作っていただけるとありがたいと思います。</p>
C委員	<p>それって多分先ほどGさんが仰った説明する、要するに50パーセント現状のままでいいと仰っていた方へ説明することにも繋がりますのですごく大事なことだと思います。いま現役の小中学校の生徒たちに配られるとか、もちろん配られるにしろ広報で配られるっていう状況であれば我々のやってる意味もあるし。もちろんこういうふうには忌憚なく意見交わされているんな状況がある。それは一言一句はホームページ見てくださいますので、こういう取り組みをしているからみんなで考えようというふうになるのはすごくいいことなんじゃないかなと思います。</p>
委員長	<p>(事務局挙手) はい、どうぞ。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。こちらのほうの委員会のこと、いまこういう検討をしていますとか過去にこういうことをやりましたとか、そういうことがまとめられるような広報記事ですね、掲載できるように担当とちょっと協議したいと思います。すみませんただですね、広報のほう締切が結構早いですよ。ですのでいまお願いしたとしても載るのが例えば年末年始とかになっちゃうかもしれないですけど。</p>
C委員	<p>学校だよりとかでもいいですし、プリント1枚でも。広報だと多分難しいし。</p>
事務局	<p>そうですね。</p>
H委員	<p>かなりもう載っているんで、たどり着ければ。</p>
C委員	<p>そう、ホームページにある。</p>
H委員	<p>その入口が難しいんですよ。ただあることはあるのは確認してるので。</p>
C委員	<p>だいたい階層深い。</p>

事務局	<p>わかりました。そのへんがわかりやすいように、たどり着けるような感じで。わかりました。</p>
委員長	<p>はい、ありがとうございます。やはり前回の議事録をまとめていただきまして、30ページくらいの議事録になったんです。できれば委員さんの方々にはその議事録を読んでいただくと、前こんなことがあったなみたいなところで自分の意見を持つにしても持ちやすいと思いますので、できれば議事録を読んでいただきたいと思います。もしパソコンのほうに繋がらない場合には事務局のほうに、教育委員会のほうに言えば紙ベースで出させていただけると思います。私なんか本当に紙ベースにじゃないと無理なので。だからそういうふうな意味では、皆様の意見を聞きながら自分も考えて、自分の考えを確かなものにして。最終的には4回しかありませんのでその時点で提出していくみたいなき感じになるので、議事録のほうはぜひお読みになってください。よろしくをお願いします。</p> <p>じゃあ他にないようでしたら今日はお時間でもありますので、これで終わりにしたいと思います。よろしいですか。はい、ではこれで議長の座を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。次回の第3回あり方検討委員会は11月25日金曜日、午後の1時30分を予定しています。改めて通知のほう早めに出させていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは閉会のご挨拶を副委員長にお願いいたします。</p>
副委員長	<p>着座のままがいいですか。</p>
事務局	<p>いえ、そのまま大丈夫です。</p>
副委員長	<p>はい。では大変お忙しい中皆さんお集まりいただきましてどうもありがとうございました。以上をもちまして本委員会を終了したいと思います。お疲れ様でした。</p>